



2020年10月号180号



# しゃきょう 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



## 赤い羽根共同募金のご協力をお願いします！

赤い羽根募金活動は人のやさしいキモキを集める活動です。

あなたのやさしさが…あなたの声かけが…あなたの行動が…  
地域を良くする一歩になります。三宅島社協では、10月1日  
より地域の商店にご協力いただき、赤い羽根共同募金運動を  
行います。この運動は、各都道府県で行われており、集  
まった募金はその都道府県内で使いみちが決められ、寄付し  
た地域で役立てられています。地域の社会課題を解決するた  
めの活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成されます。ま  
た、大規模な災害が発生した際の備えとして、各都道府県の共同募金会において、その一



部を「災害等準備金」として積み立てて  
います。この積み立ては災害ボランティア  
の活動支援や被災地を支えるために使  
われます。みなさんのご協力をお待ちし  
ております！三宅島社協は赤い羽根募金よ  
り車輛の寄付をして頂いています。





開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

## 10月のいぶき活動

緑花活動 7・14・21・28日(全水曜日)

外出支援 15日(木曜日)



毎月、季節に合った壁面飾りを作成しています。8月は花火、9月は秋をテーマに折り紙や絵の具、マッキー等で作品を作り上げました。丁寧に型紙をなぞる人、大胆にイラストを描く人、利用者によって作品の作り方は違いますが、それぞれの個性が集まって素敵な作品に仕上がりました。



## ちけん通信

### Vol.18 生活費の金額や訪問回数は誰が決めるの?

Q.

「ちけん」を利用した場合、生活費の金額や、担当者の訪問回数などは誰がどうやって決めるのでしょうか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!

地権担当のヤナガワです。ご相談ありがとうございます! 支援で準備する生活費や面談の訪問回数は利用者の方、それぞれのご事情に合わせて、ご自身に決めていただいています。ちけん相談員は生活上における心配ごとの整理やそれを解消するための方法を一緒に考えるなど、皆さんが希望される生活を送れるようそれぞれのご事情やご要望に合わせたお手伝いをさせていただきます! お気軽にご相談ください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通8-5883】まで!

## 寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

浅沼 和治さまより	亡母 八重子さまの香料より	組織運営事業のために
大沼 稲子さまより	亡夫 恒藤さまの香料より	組織運営事業のために
櫻田 カツ子さまより	故昇一さまご逝去に際し	障がい者福祉・訪問介護事業のために
佐久間昭博さまより	亡父 和男さまの香料より	訪問介護事業のために

福祉振興のため、大切に使用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございます。



## 受験生チャレンジ支援貸付事業からのお知らせ

東京都では受験に伴う塾代、受験料及び交通費と宿泊費の貸付を行っており、三宅島では社会福祉協議会が窓口となります。この貸付は無利子で高校や大学等に入学できた場合は返済が免除されます。対象者は受験生（中学・高校の3年生及びそれに準じる者）を持つ世帯で、世帯の総所得金額が一定基準以下であることや、原則連帯保証人が必要等いくつかの条件をすべて満たす必要があります。また、借用書の取り交わしや印鑑証明書の提出等手続きや審査に時間がかかりますのでご希望の方は早めにご相談ください。

～貸付金の内容は下記の通り～

- 学習塾等受講料貸付金：限度額 20 万円（夏季・冬期講習も対象です）
- 受験料貸付金： 限度額高校受験 27,400 円 大学受験 80,000 円  
島しょ特例として交通費・宿泊費もそれぞれ 23,000 円・30,000 円を上限に貸付ます。
- 収入要件基準：例、世帯人数 4 人（両親と子ども二人）の場合→3,864,000 円（総収入）  
世帯人数やひとり親などで変わりますので、詳しくは社協までお問い合わせください！



## 訪問介護ヘルパー募集中！

三宅島社会福祉協議会では、現在訪問介護ヘルパーを募集しております！三宅島の在宅介護を担う訪問介護ヘルパーさんが不足しています。あなたの手の空いている「隙間の時間」で訪問介護ヘルパーをやってみませんか？もちろん、とても大変なお仕事です、でもとてもやりがいのあるお仕事です！三宅島の在宅介護の為に…三宅島の高齢者の為に…一緒に働いてみませんか？訪問介護ヘルパーとしての勤務経験がない方も大歓迎です！興味のある方は是非社協までご連絡ください！

【主な業務】掃除・調理・入浴介助などの訪問支援

【勤務時間】8：30～17：30 までの間（曜日時間は応相談）

【資格要件】ホームヘルパー2級以上・普通自動車免許

【待遇】時給 1250 円





# 懐かしのマイ・ストーリー

もう一度、あなただけの物語、聞かせてください。

浅沼みさ子さん  
の物語

今月号のマイストーリーは以前社協だよりに掲載させていただいたバックナンバーのマイストーリーを掲載させていただきます。当時の社協だよりはまだカラーではなかったので当時の素敵な写真もあわせてご覧ください。



現在の浅沼さん

## どんなことがあっても幸せな日々が必ず来るよ。

大正12年7人兄弟の5番目として神着で生まれた浅沼みさ子さん94歳。

生まれた時は小さくて、災害時には母が懐に自分を入れて逃げたという話をよく聞かされたという。18歳の時に東京の浅草に女中奉公に行った。翌年結婚する為に三宅島に帰ってきた。戦時中も三宅島で過ごした。畑仕事をしている時も空襲警報が鳴れば、避難して悪夢が行き過ぎるのを待ったこともあるという。それでも働くのが好きだった。働くのが好きだったおかげで、ぜいたくはできなかったがおなかをいっぱいにすることができた。なんだって作った。味噌も大豆と麦を育てる事から始めた。甘いものが欲しくなると野イチゴを食べたという。あの味はいつまでたっても忘れられない。結婚して

から3年後待望の長女が産まれた。子どもを産むのは大変だったけれど、こんなに嬉しかったことはないという。夫との間には4人の子宝に恵まれた。今思い返しても子どもがいてくれるということが原動力だった。昭和15年の噴火体験は、盆踊りに出かけた空が真っ赤になっていた。きれいだなと眺めていたらフワリと二つの煙があがり、次の瞬間花火のように赤いものが降ってきた。どこからか「避難しろ！」という声が聞こえた。噴火がどんなものかわからなかった。それが初めての噴火体験だった。「戦争はもちろん怖かったけど子どもがいなかったし、失うものがなかった。昭和37年の噴火の時は子どもがいて、子どもを失うかもしれない恐怖の方がずっと怖かった。」と語ってくれた。どんな時でも子どもに大きな愛情を注いでいたが、子育てで1番困ったことは、着せてあげる服がなかったことだそう。幼い頃、みさ子さんのお母さんが「女の子は何もできなくても裁縫はできたほうがいい」と言って裁縫教室に通わせてくれたので、自分の着物を子どもの服やオムツに縫い直した。子どもに使えるすべての時間が幸せだった。困った事は母の愛情で乗り越えられた。子育てはとても楽しくて子どもの成長を見る度に幸せをかみしめた。現在は長男夫婦と一緒に住んでいて「二人とも自分に気を遣ってくれて申し訳ないけど、なんの不自由もなくとても幸せな日々よ。」と笑顔を見せてくれた。めくるめく激動の時代を過ごしてどんな時代でも子どもを想う「大きな愛情」を持ち、力強く生き抜いていらっしやっただけの浅沼みさ子さんのストーリーでした。みさ子さんの母としての愛情を強く感じました。「思い残しもないし、し残した事もないわ」とおっしゃっていましたが、その大きな愛情を皆さんに伝えてください！取材中に握らせていただいた、大きな働き者の手は、とっても素敵な母の手でした。大きな愛にあふれたストーリーと楽しい取材の時間、本当にありがとうございました。（取材日：平成30年3月28日）

現在、浅沼さんは97歳！お写真でもわかるようにお元気に過ごされています。当時と変わらず、ユーモラスで笑顔が素敵なみさ子さん。コロナウィルスの影響でサロンなどが行われていないため、「点繋ぎパズルを毎日時間を忘れてしまうくらい熱中している。」とお話してくれました。当時の浅沼さんの写真は白黒掲載にも関わらずたくさんの島民の方から「とっても素敵な写真だね」とほめて頂いたのを憶えています。カラーで掲載できる日が来ると思っていなかったのもとても嬉しいです！まだまだ、これからも長生きしてくださいね！いつも快く取材を受けてくださって本当にありがとうございます！また、お話聞かせてくださいね。



現在の浅沼さん